

森林パトロール通信

平成19年度第4号 平成19年9月6日発行

猛暑もようやく一段落し、津軽地方は、いよいよ収穫の秋を迎える季節となり、森林巡視員の皆様におかれましては、体調管理等ご健康に留意され、益々のご活躍を願うところでございます。

また、平成19年度金木支署森林パトロール通信も、ようやく第4号の発行となりました。今後は、月1回の発行を目標に努力する所存でおりますので、皆様方のご指導ご協力をお願い致します。

さて、8月1日付けで事務局の富樫が異動となり、後任が、私、山形となりました。

まだ不慣れで皆様方にご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、どうかよろしくお願い致します。

8月1日付け異動者

～転出した方～

業務課長 : 富樫定史(米代東部森林管理署上小阿仁支署業務第一課長)



～転入者～

業務課長 : 山形正人(青森事務所技術指導官)

原野火災が国有林に延焼した山火事発生

新聞報道等でご存じかと思いますが、8月29日につがる市館岡のベンセ湿原付近の原野火災が発生し、鎮火したものと思われていたところ、その後、9月2日まで燃え続けました。

9月1日には、浪返国有林の官民地境界付近の国有林にも延焼し、194本の貴重な防風保安林が被害を受けました。

このことについては、巡視員である中泊町の高松末光さんから、森林パトロール報告が提出され、また、消火活動にも協力いただき感謝申し上げます。

支署で、8月30日に現地を確認したところ、国有林の手前約50m地点まで延焼して

いましたが、鎮火したと聞いて一安心しておりました。しかし、9月1日に再び燃え広がったとの一報を受け午後に現地を確認したところ、残念ながら国有林へも延焼しており、被害の拡大が心配されましたが、午後7時過ぎ、消防署より鎮火の連絡がありました。

9月3日に被害調査をしたところ、9月1日に目視により確認した数値よりおまのほかに被害が大きく愕然としたところです。

以下被害の詳細

焼失面積	0.024ha	被害本数	クロマツ	176本	49.05m ³
			広葉樹	18本	0.43m ³

この火事が長期間燃え続けたことは、何らかの原因で泥炭層(サルケ)に火が点いて、鎮火したように見えた火災が地中では消えていなかったためです。

いずれにしても、最初に野焼きやタバコの不始末等、人間の不注意による原因があって、はじめて火災が発生しますので、パトロール員の皆様には、入山者への注意喚起を引き続きお願いいたします。



山菜(きのこ)シーズン来る:入山者への注意喚起

いよいよ、きのこ狩りが最盛期となります。

今年は、きのこが凶作ともいわれており、このような年は、遭難が多くなるともいわれています。

もし、入山者を見かけた時は、①奥深く入山しない②絶えず位地を確認する③一人で入るな④雨具、マッチ、軽食等は持っているか⑤万が一迷ったときは、動き回らない等注意喚起をよろしくお願いします。

森林ボランティアパトロール員の任期の更新

任期の更新については、何らかの事情でパトロール員を辞する場合を除き、特段の手続きは必要ありません。(自動更新)

もし、何らかの事情が生じて、パトロール員を辞める場合は、お手数でも、事務局へ連絡願います。

事務局: 山形正人	
電話	IP050-3160-5875
	0173-53-3115
FAX	0173-53-3197